

お客様各位

2011年4月1日
株式会社 日立製作所

計画停電時における無停電電源装置(UPS)の取り扱いについて

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震に被災されたみなさまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回の地震の影響により電力不足が発生し、その緊急対策として地域ごとの計画停電が実施されております。このような環境の中、無停電電源装置(UPS)をお使いのお客様に、計画停電時のご使用方法についてお知らせ申し上げます。

UPSは、停電などで電源異常が発生した場合のUPS内バッテリーによる短時間のバックアップ運転を想定した仕様としており、長時間停電のバックアップには対応していません。計画停電が実施される度にバックアップ運転が行われますと、内蔵バッテリーの充放電回数が増え、内蔵バッテリー寿命への影響が考えられますので以下の取り扱いを推奨申し上げます。

対象製品

No.	UPS 形名	適用サーバ
1	GV-SBU1 ..	BladeSymphony
2	GV-BU ..	HA8500
3	HT-F4990-RU ..	H9000V
4	GH-SBU7 ..	HA8000
5	GH-SBUC7 ..	
6	GH-SBUK7 ..	
7	GH-SBUK9 ..	
8	GH-SBUR7 ..	
9	GH-SBUR9 ..	
10	GV-SBU1 ..	
11	THE-SUPS-0 ..	EP8000
12	THE-07-50 ..	
13	THE-UPS-550 ..	
14	THE-07-0 ..	

.. : 任意の英数字

計画停電時に推奨する対応方法

- (1) 計画停電開始前に、UPSに接続されている負荷装置、各種機器を停止してください。
- (2) 負荷装置、各種機器が完全に停止したことをご確認の上、UPS本体を停止し、停電中にバッテリーが放電しないようにしてください。
- (3) 計画停電が終了しましたら、UPSを起動し、UPSに接続されている負荷装置、各種機器を起動・復帰させてください。

ご留意事項

バックアップ運転後は、十分なバッテリー充電の時間が必要です。充電時間が不足した場合や、頻りにバックアップ運転を行った場合には、バッテリーの寿命が極端に短くなり、バックアップ時間が短縮する可能性があります。またその際には、UPSのバッテリー寿命診断機能による警報が発する前に、バッテリーが寿命に至ることが起こり得ます。バッテリーが寿命に至った場合は、バッテリー交換のご検討をお願い申し上げます。

お問合せ先

以下をご参照ください。

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/inquiry/index.html>

以上